



“わかば賞”が伝えるもの

—小さな学校でもやればできる— 校長 木下俊児



10月21日（火）、県中学駅伝に出場した船岡中学校女子チームは、1か月前の東部地区予選の記録を2分以上短縮する44分42秒で11位（出場35校）と健闘し、見事「わかば賞」を受賞しました。

「わかば賞」は、全校生徒150人以下の小規模校のうち、優勝校を除く最上位の学校に送られる賞です。船岡中学校最後の年に、「小さな学校でもやればできる」ことを見事に証明し、その銀杯に船岡中学校の名を刻んでくれました。

涙と想いが染み込み、つないでいくたびに重みを増す1本の襷（たすき）を、その重みを受け止めながらつないでいく競技です。5人の走者だけではなく、一緒に練習してきた仲間、応援してくれた仲間、指導者、家族、地域のみなさん、駅伝にかかわったすべての人々の汗と涙と想いが「わかば賞」という形で実を結んだのです。

チームは解散しましたが、駅伝を通じて培ったチームワークや根性、仲間との絆（きずな）など、大きな財産を残してくれました。私たちは、船岡中学校としての残り半年だけではなく、八頭中学校に統合しても、「わかば賞」が伝えるものを忘れてはなりません。

これまでご支援をいただいた多くの皆様方、本当にありがとうございました。

駅伝は「心をつなぐ」競技です。ひとりひとりの汗と



1区：岸田清楓さん（右）



2区：谷尾沙耶香さん（中央）



3区：浦林美有さん



4区：林 千穂さん



5区：上月尚香さん

後期生徒会始動

9月30日に後期生徒会役員選挙が行われ、

生徒会長に大谷健さん、副会長に中尾太紀さん・岸田美咲さん、書記長に林晟太郎さん、出納長に山根莉央さん、会計監査に中原優花さんが選出されました。1、2年生のフレッシュなメンバーによる生徒会執行部と専門委員長のもと、10月17日（金）に生徒総会が行われました。船中最後の半年をより良くしようという生徒会執行部と専門委員長の思いが良く伝わってくる生徒総会でした。



〈生徒会長より〉

僕たち後期生徒会執行部は、「残り少ない船岡中学校での生活を、華々しい締めをしたい。」という思いと、現在の船岡中学校の課題のひとつ「けじめをつける」ということを克服しようという思いを合わせ、「華締（けじめ）」



という後期スローガンをつくりました。残された時間、船岡中の課題の克服と、生徒全員が協力してより良い学校づくりに全力で努めていくつもりです。船岡中最後の半年。これは僕たち現在の生徒115人だけにあてはまることではありません。多くの先輩方、保護者や地域の方々の存在を決して忘れてはいけません。それを今一度再確認し、胸を張り、誇れる船中なんだということを生徒全員が心に留め、必ずみんなで“華々しい締め”を飾ってみせようと思います。